



口絵 1 上富良野市街地から見渡した十勝岳火山群 (2005年9月9日、宇井忠英撮影)

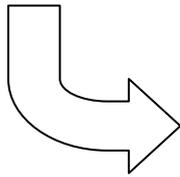


口絵 2 十勝岳避難小屋上空から見下ろした十勝岳の火口群と噴煙 (2005年10月26日、宇井忠英撮影)



西の山に避難した大角氏の目の
前を泥流が通過

(目撃場所は図2-5参照)



ドロドロの泥流が、流木と一緒に
馬や家が重なり合って流れて行っ
た。

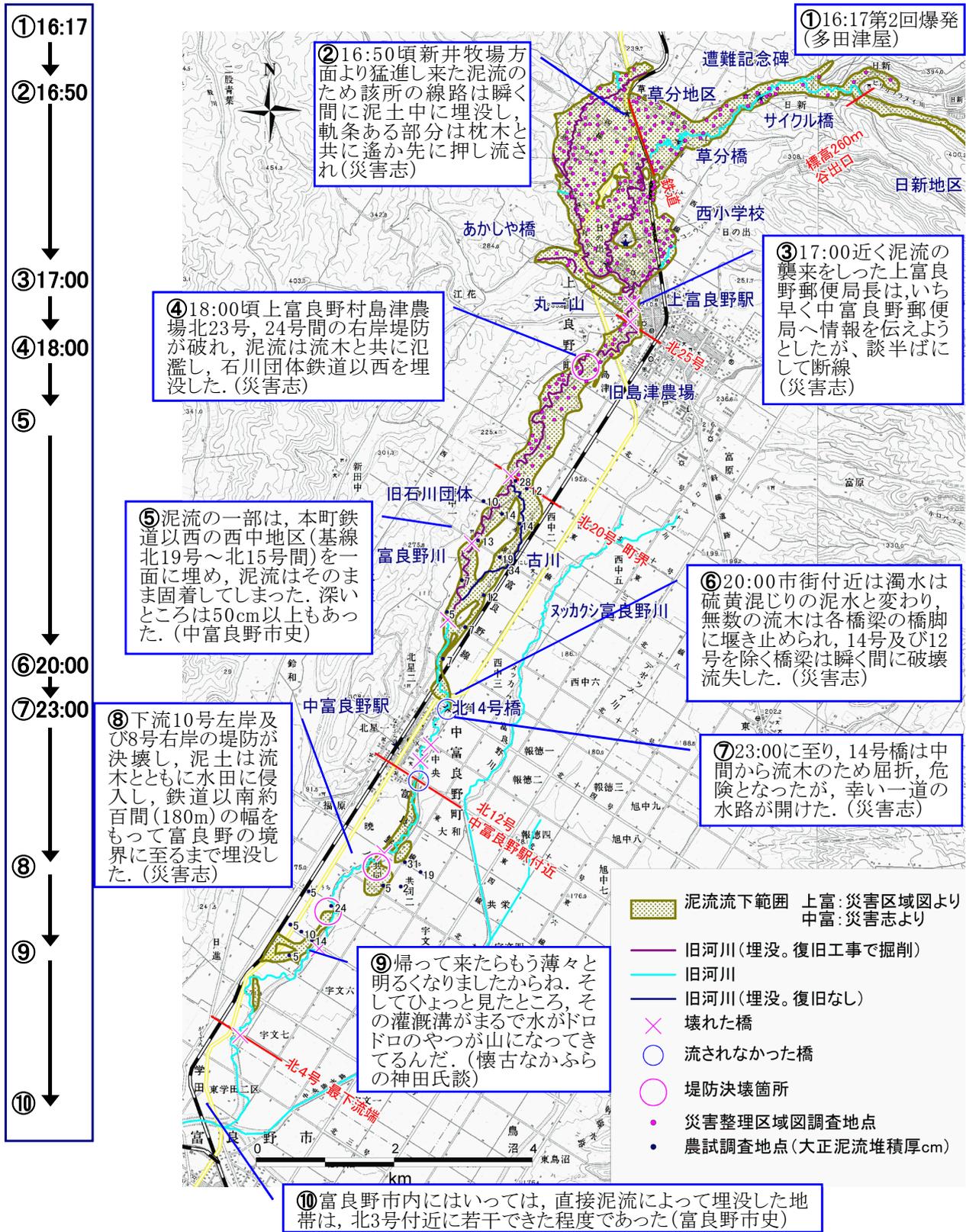
流速3～4m/s、水深3m程度



[目撃地点での調査]

口絵3 大正泥流の復元CGと聞き取り調査の状況 (本文p39参照)

注) CG (コンピュータグラフィックス) は「北海道旭川土木現業所 (1996) 防災啓発ビデオ」の動画から作成

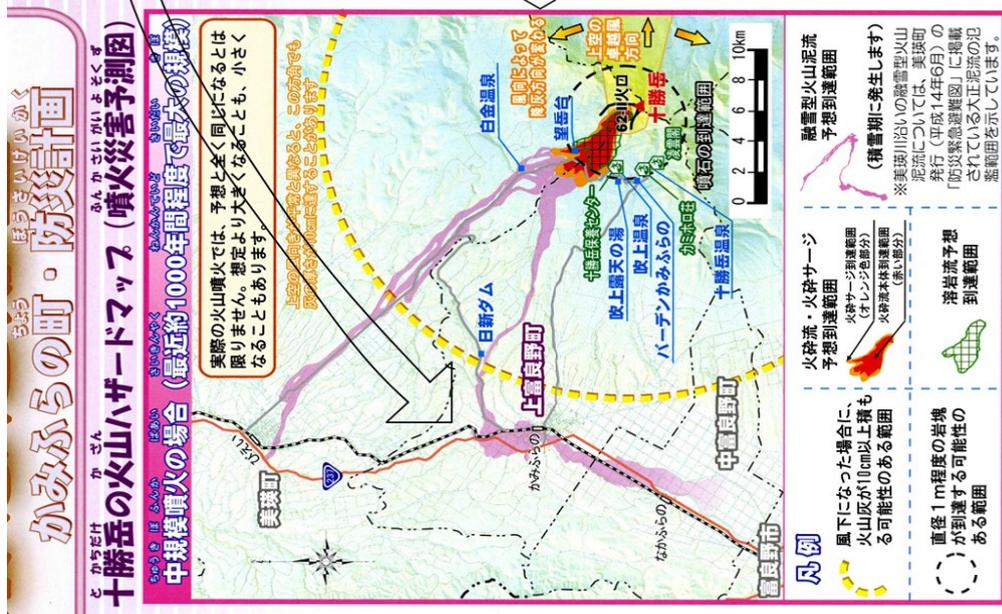


口絵4 文献調査による上富良野～富良野での被災状況 (本文P33参照)

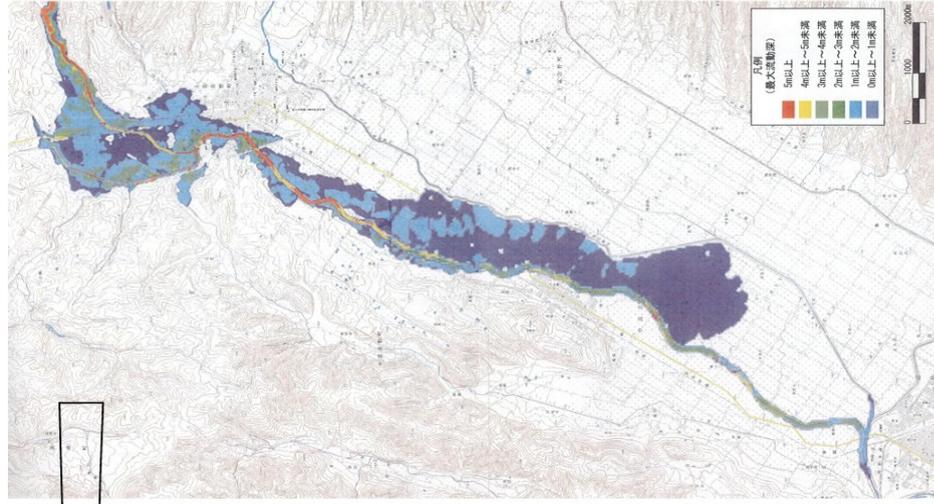
出典:『北海道旭川土木現業所報告書』



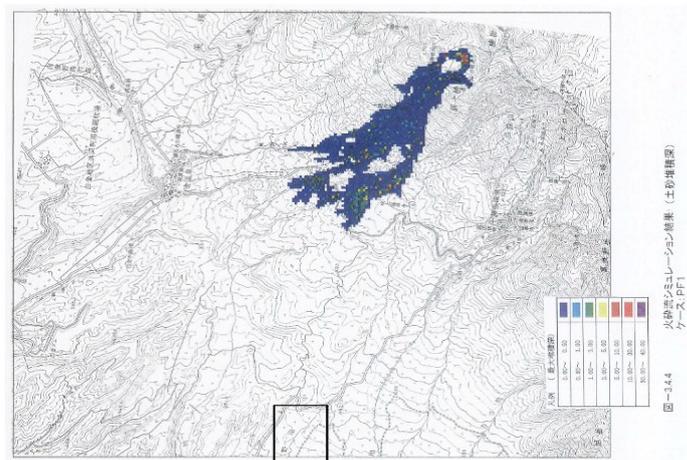
口絵5 上富良野災害整理区域平面図（上富良野町開拓記念館所蔵）（本文p164参照）



上富良野町の防災マップ※1
 「小規模火砕流＋融雪型火山泥流」
 ※右シミュレーションマップをもとに作成



シミュレーションマップ(下流)※2
 「小規模火砕流＋融雪型火山泥流」



シミュレーションマップ(火山近辺)※2
 「小規模火砕流」
 最近約1000年程度で最大の規模を想定

口絵6 現在のシミュレーションマップと防災マップ (本文p142参照)

出典：※1 「十勝岳火山防災マップ」 2006年3月上富良野町発行、※2 『北海道旭川土木現業所報告書』